

平成28年度 予算

平成28年度の当初予算が、第1回市議会定例会で決まりました。「第2次天草市総合計画」に沿って、限られた財源の中で重点的・効率的な配分に努め、予算を編成しています。

今号では、平成28年度の一般会計予算のほか、特別会計・企業会計の予算を紹介します（金額と構成比、増減率は表示単位未満を四捨五入しています）。

一般会計予算は 524.9億円

平成27年度と
比べて
**約2.8億円
(0.5%)
減りました。**

【一般会計予算の概要】

一般会計の予算額は524.9億円で前年度と比べる約2.8億円(0.5%)の減少になりました。

これは、天草エアライン(株)が行う航空機更新事業の終了や、汚泥再生処理センター整備事業費の減少などによるものです。

平成28年度から始まる普通交付税の段階的縮減などにより、今後の財政運営はいつそう厳しさを増すものと見込まれます。「第2次天草市総合計画」を推進する重要な施策や地方創生に向けた取り組みには、必要な予算を配分し、事業の重点化・効率化を図っています。

◆歳入

歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機関などから

借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。

平成28年度の自主財源は、106.1億円で、歳入総額に占める割合は20.2%（前年度20.6%）となっています。

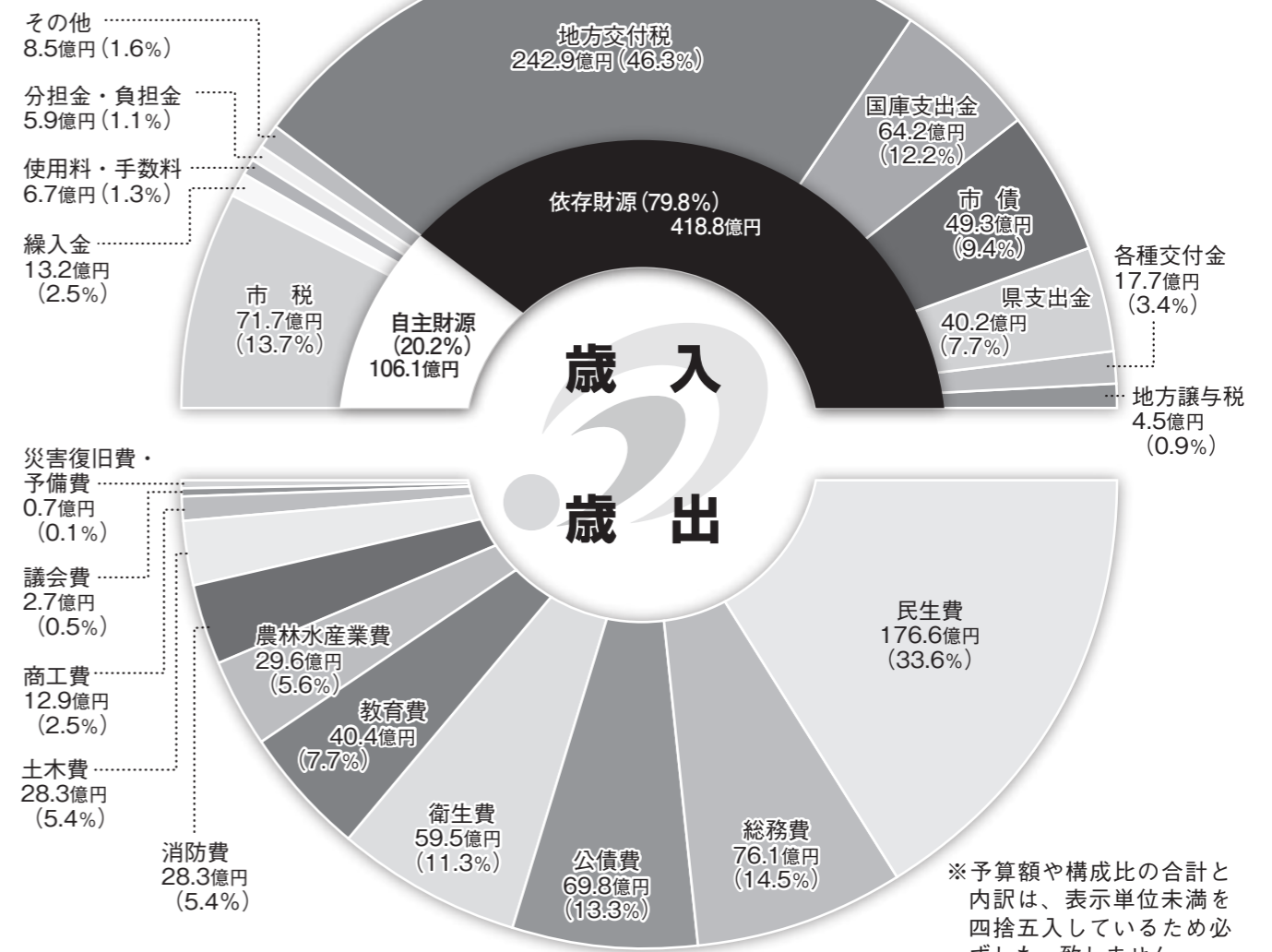
一方、依存財源は418.8億円で、歳入総額に占める割合は79.8%（同79.4%）となっています。

◆歳出

歳出は、使われるお金の目的によって、民生費や総務費など12項目に分けられます。今年度の予算でもっとも大きな割合を占めているのは民生費(33.6%)です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。

これに続いて、総務費、公債費、衛生費、教育費、農林水産業費の順になっています。

◆一般会計予算の内訳



※予算額や構成比の合計と内訳は、表示単位未満を四捨五入しているため必ずしも一致しません。

特別会計・企業会計の予算

◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計の歳入歳出と区分して会計処理をするために設置するものです。

本市では、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療などの特別会計を設けています。主な特別会計の予算額は右表のとおりです。

◆企業会計

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置しているものです。

本市では、病院事業と水道事業に加え、平成28年度から下水道事業も企業会計で処理をします。予算額は右表のとおりです。

◆主な特別会計の予算額

区分	予算額	増減率
国民健康保険	153.5億円	▲0.9%
介護保険	109.4億円	2.3%
後期高齢者医療	11.9億円	▲0.5%
浄化槽市町村整備推進事業	1.5億円	▲0.5%
簡易水道事業	13.9億円	▲1.6%
国民健康保険診療施設	2.2億円	16.0%
歯科診療所	0.6億円	17.4%
斎場事業	0.9億円	▲3.3%

◆企業会計の予算額

区分	予算額	増減率
病院事業	収益的収入	40.6億円 1.7%
	収益的支出	40.6億円 1.7%
	資本的収入	2.2億円 19.9%
	資本的支出	5.6億円 11.7%
水道事業	収益的収入	16.0億円 11.9%
	収益的支出	15.0億円 2.7%
	資本的収入	0.3億円 ▲16.6%
	資本的支出	7.7億円 2.0%
下水道事業	収益的収入	21.1億円 -
	収益的支出	20.2億円 -
	資本的収入	6.8億円 -
	資本的支出	13.9億円 -

※▲=マイナス